

これ知っとう？

わが町の宝物 第6回

すもうべや 相撲部屋

時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…
須恵町の大切な宝物をご紹介します。



大相撲開催

11月13日から、日本の国技「大相撲九州場所」が始まります。年間6場所の1つが、福岡の国際センターで行われます。

現在、44部屋645人の力士に加え、各部屋の行事・床山・呼出・世話人等や関係者が一度にやってくる、場所を盛り上げてくれます。

各部屋は、会場近くに約1カ月間居を構え、そこで稽古をし、そこから通います。当町にも2つの部屋がやってきます。甲植木の道林寺に玉ノ井部屋、乙植木のコミュニティセンターに荒汐部屋です。

玉ノ井部屋は20年ほど前から、元大関栃東親方に25名の力士と関係者、一方、荒汐部屋は4年目ですが、元小結大豊親方に12名の力士と関係者です。

ちゃんこ

稽古は早朝から始められ、午前中には朝昼兼用の食事をし、その後ゆっくりと体を休めます。

力士たちがとる食事のことを総称して「ちゃんこ」と言います。お相伴にあずかる機会がありますが、とても男所帯とは言えないような繊細で美味しい料理です。量は半端ないものですが…

稽古で見た顔がテレビで頑張っています。応援に熱が入るのも当然です。時間を見つけてぜひ部屋に足を運んでみてはどうでしょうか。力士たちの稽古にも熱が入るというものです。

玉ノ井部屋



須恵町大字植木307番地1 (道林寺よこ)

荒汐部屋



須恵町大字植木1665番地 (乙植木コミュニティセンター内)

編集後記

本号は200回目の記念号です。

「創刊号から51年の歩み」や、「災害が起こったら」の特集を企画し、通常より増ページしています。

危機は通常油断しているときに起こります。その対応の基本は自分(住民)自身の主体性。現代人は危機察知能力が低下しているといわれています。スマホを見ながら歩き、イヤホンで音楽を聴きながら歩く。

五感を働かせ、危険を感じたら素早く行動に移す。行政の指示は参考だと考える。少なくとも自治体や国任せにしないことが大切ではないでしょうか。

穏やかな気候が過激化し、地震も頻発する状況です。避難の空振りや許し、危機感をもって自分の命を守る。日本列島は危険なところ、外国だつてテロが頻発しています。これらをいつも心に留め、自分の立ち位置や、廻りの状況を確認・予知しておきたいものです。

白水勝元

発行責任者

議長：三角 良人

広報特別委員会

委員長：今村 桂子

副委員長：白水 勝元

委員：合屋 伸好

委員：三角 栄重